



札幌市議会議員
豊平区

ともこ 小竹 知子 政務調査だより

<http://www.parl.biz>

■発行所/札幌市議会議員 小竹 知子 政務調査室

〒062-0020 札幌市豊平区月寒中央通6丁目3-28 TEL 011-851-1300 Fax 011-851-1360

■発行日/2012年1月11日(水) [活動報告]はブログで!随時更新中 ブログ<http://ameblo.jp/k-tomoko/>

昨春の市議会議員選挙もに地元商店街に生まれ育て、皆さまの温かいご支援も、結婚後家業の金物店を両親と共に営んできた一商き、その後の活動も含めて業人として、また、一女三男深いご理解・ご協力を賜り、の母としての視点を大切に、感謝申し上げます。議員になつて、今まで見えていた問題が多かつたさまざまな問題が多かることに改めて気づき、驚いています。しかし、民放ラジオキヤスターや旅行添乗員として多くの社会勉強をさせていただきました。その経験を十分に生かすとします。

やさしさと
情熱を
市政に!

自民党市民会議を代表して初の代表質問(平成23年12月6日)
【その内容は本紙2面に一部掲載】



小竹ともこの政策行動

◆ TPP問題:影響度についての市の認識を問う

市はその影響の具体的試算を出していない。情報収集や企業、団体への調査などから、影響の把握に努めたいという態度表明にとどまりました。

◆ 公契約条例について

市民、議会に対して説明不足のまま、制定ありきで臨む強行姿勢は、甚だ遺憾。入札制度改革等、必要な施策を行い、憲法、地方自治法、独占禁止法といった観点からの問題点を追及しました。

◆ 老人クラブ活動費補助の見直し

地域で生き生き暮らすために必要な場であり、地域貢献の団体でもある。老人クラブの皆さまとの共通認識の下で新制度を導入するよう求めました。

◆ 通年型カーリング場の活用方針 (月寒東1条8丁目に完成予定)

人気スポーツとして根付き、国際交流、経済効果を高め、スポーツ都市札幌として華開くよう市に対して普及振興策の推進を強く要望しました。

◆ 子どもたちの教育環境改善に向けて

家庭の貧困や、虐待、ネグレクトなど複雑な環境にいる子どもたちが増えている。教育と福祉の両面からの支援体制がとれるスクールソーシャルワーカーの増員が必要です。

◆ 中学生の運動部活動顧問の派遣

減り続ける中学生の運動部。教育経験者の外部顧問派遣モデル事業の充実を求めました。

◆ 内会創立40周年



▲地元月寒の町内会40周年記念祝賀会で



▲福祉の現場を歩く~「ひまわり整形園」など市内障がい児通園施設を視察

◆ 行政視察で大阪市へ

生活保護受給者15万人突破(18人に1人)の全国ワースト1の大阪市に、11月不正受給者対策プロジェクトチームが発足しました。その新しい取り組みを調査しました。



▲八王子市小児・障害メディカルセンターにて新たな一次医療施設を視察

前向き・提言型の活動に重点

政策・立案で市・市議会をリード

私たち札幌市議会自民党・市民会議議員会は市民・区民の目線に立った活動を積極的に展開してきました。上田市政に対する対応では、当然ながら厳しくチェックし、問題点を鋭く指摘して追及してきましたが、私たちは、それとども前向きにしてまいりました。プロジェクト活動などもその一つですが、これからも市民・区民の先頭に立って、札幌市議会第一党として責任ある市政をリードしていく決意です。

注目された大局観に立った代表質問

札幌市長選挙後、3回の定例市議会が開催されました。本会議や各委員会において、積極的に市政の問題を掘り下げ、取り上げてまいりましたが、第2回～第4回定例会本会議における自民党・市民会議の代表質問の概要は、次の通りです。

第2定 札幌を中心とした道央圏に日本の生産拠点に

- 未曾有の被害をもたらした東日本大震災を教訓とし、生産拠点の分散化を図り、リスクを最小限に抑えるべきだ。
- 市長は「さっぽろ元気ビジョン第3ステージ」の中で、戦略的企業誘致を進めるとしているが、その具体的な戦略は？
- 住宅工コリフオーム条例に基づく補助金申請は、受け付け開始から2週間で予算額の1500万円に達した。速やかに予算を確保、追加募集をすべきである。



第3定 地域の安全・安心のため、放置空き家対策を示せ

○新たな大都市制度「特別自治市」の創設について、大都市共同研究会が首都圏5市と

横浜、川崎、千葉、さいたま、相模原、京都、神戸各市の参加によって発足しようとしているが、札幌市は入っていない。

○地方分権推進調整会議の経過と成果を踏まえ、この研究会に参加する考えはない。

○市民の安心・安全という観点から、放置されている空き家

るが、市長はこの条例に過度な期待をかけ過ぎていないか。

○東日本大震災の教訓の下、地域防災計画と民間収容避難所指定基準の見直し、収容避難場所と地域会館の耐震化促進についてどう考えるか。

○市民の安心・安全という観点について、その方向性を具体的に示せ。

○他の質問 環境、教育、雪対策、食の安全、子どもの育成、南区の魅力アップなど。

○市長がマニフェストに掲げている公契約条例制定は、いま内容が明らかでない。兵庫県尼崎市では問題点が多いことから議会で否決されてい

ます。

○その他の質問 まちづくり戦略ビジョン、中央体育館整備など。

第4定 大阪都構想は札幌市にどのような影響を与えるか

- 大阪の市長・府知事ダブル選挙で、「大阪都構想」を掲げる大阪維新の会の勝利に終わつたが、地方自治を揺るがしかねない問題や橋下新市長の独断専行の政治手法には多くの批判もある。上田市長は大阪まで出向き、敗れた現職市長を応援したと聞いているが、今回の選挙結果を踏まえ、市長としてのリーダーシップのあり方を含め、どのような認識を持っているか。また、札幌市などにどのような影響を与えると考えているか。
- TPP(環太平洋パートナーシップ協定)参加が、札幌経済に対して具体的にどのような影響を与えるか、政府に對してどのように対応するのかも含めて考えを聞きたい。
- 他の質問 財政・都心のまちづくりなどに関わる市长の政治姿勢、防災教育、福祉政策、コミュニティー施設管理運営など。

一大プロジェクトが積極的活動

「災害・経済対策」「エネルギー・環境対策」



いきますが、すでに事業活動・自動車管理・緑化推進・エネルギーについて環境配慮制度を導入している広島市の地球温暖化対策や、戸別収集を実施している福岡市の一般廃棄物処理計画などについて研究を重ねています。

札幌市の問題では、戸別収集について、これまで私たちは市民サービスの向上、住民間トラブルの解消、適切なごみ分別の促進という観点から取り組んでいます。

こうした中、私たちは災害・経済対策とエネルギー・環境対策の二つのプロジェクトを設置、喫緊の課題に積極的に取り組んでいます。

災害・経済対策プロジェクト

「災害・経済対策プロジェクト」は、災害防止、避難場所の確保・避難誘導などの災害対策や、震災で加速した不況からの脱却と地域経済産業の振興を起爆剤とした力強い経済再生に向けた具体的な政策の調査、研究を進めています。

11月14～16日には被災地の石巻・南三陸、気仙沼、陸前高田、大船渡、宮古など東北10市町・地区を視察。

エネルギー・環境対策

「エネルギー・環境対策」では、本道における泊原発の安全性確保、クリーンエネルギーの開発推進とともに、温暖化防止など地球環境問題に取り組んで

